



阿蘇神社（旧村社）

御祭神 健磐龍命（タケイワタツノミコト）

例祭日 10月15日



平成13年1月1日
第27号

発行所
阿蘇神社社務所
多良見町化屋名862
☎ 0957-43-5235

迎春

春

阿蘇神社
宮司 大島 大明

平成十三年の新春を言祝ぎ氏子
崇敬者各位のご多様ご繁栄を祈念
申し上げます。本年も阿蘇神社に
対し格別のご支援とご高配を賜り
ますようお願い申し上げます。

おごそかに

たもたざらめや神代より
うけつぎ来たる浦安の国

これは明治天皇がお詠みになら
れた歌ですが、日本人としての道

義というものが込められています。
およそ現在の全ての事柄は、遠
い祖先からの受け継ぎであり、現
存することは、全て過去の生命の
延長として存在しているといえま
す。敬神崇祖の念と感謝の心を忘
れず、今という時をより良く生き
ることの大切さを説いています。
これが連綿と続く生命の継承で
あり、日本人として受け継がれて
いる道義であり、民族としての伝
統精神の根幹であると云えます。

敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であつて、崇高なる精神を培ひ、太平を開ぐの基である。

神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を發揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。
ここにこの綱領をかかげて向かふところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、

明き清きまことを以て祭祀にいそしむこと

一、世のため人のために奉仕し、
神のみこともちとして世をつくり固め成すこと
一、大御心をいただきてむづび和らぎ、
国の隆昌と世界の共存共栄とを祈ること

節分祭豆撒き奉仕者募集中

今年の年男・年女

平成元年生、昭和五十二年生

昭和四十年生、昭和二十八年生

昭和十六年生、昭和四年生

大正六年生が巳年です。

部・婦人部などの協力により多くの出店が並びます。ご家族・ご近所お誘い合わせのうえ、是非ご参拝いただき「一年の福」を沢山お持ち帰り下さい。

火焼神事

(ほやきしんじ)

旧年中の古い御神札・御守・破魔矢・熊手・家庭用神殿など神社に縁のあるものを焼き納める祭り

です。午後八時四十分には終了しますので、遅れないようにお持ち下さい。

◎集合時間はいずれも豆撒き時間

一、申込み方法

(含記念品及び写真代)

大人 八〇〇〇円
子供 五〇〇〇円

済ませて境内の特設舞台に上がり豆撒きをいたします。

一、参加料

(含記念品及び写真代)

年賀を求めて参拝されます。

ご家族お揃いで福豆を拾いがて

ら是非ご参拝いただき、今年の福

を沢山お持ち帰り下さい。

◇豆撒き奉仕者募集要項◇

豆撒き奉仕者は年男・年女であれば、年齢は不問です。

定員になり次第締め切りりますので

希望者はお早めに連絡願います。

希望者はお早めに連絡願います。

記

一、期日 二月三日

一、募集人員 二十一名

柱の都合により一回七名です。

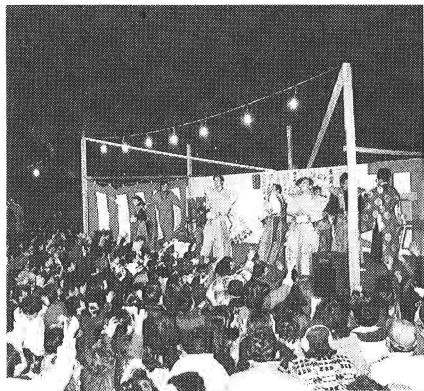
ご家族・友人と豆撒きを希望される場合はその旨お知らせ下さい。

一、豆撒きの時間

一回目 午後六時四十分

二回目 午後七時三十分

三回目 午後八時二十分



節分祭

本来節分とは、季節の移り変わ

る節(立春、立夏、立秋、立冬)の

前日をいいます。季節の変わる時

期は、陰と陽とが対立し、邪気を

生じ災いをもたらすとされ、この

邪気を追い払うため鬼やらいなど

の行事が行われるようになります。

た。また、いつの頃からか節分と

いうと、冬から春への変わり目

(立春の前日)のみを指すことにな

りました。内に閉じこもった冬か

ら大きく活動を開始する春。福豆

を拾つて邪気を払い新春へ大きく

羽ばたいていただきたいものです。

当日は年男・年女が袴に身を正

し、神前でお祓を受け、先ず殿内

で豆打神事を行います。その後境

内の特設舞台に上がり景品付きの

福豆を撒きます。この開運招福の

福豆には番号が付けられており、

景品が当たります。

また、当日は境内に商工会青年

節分祭特別協賛金のお願い

平成七年度より節分祭の運営のため協賛金を各商社よりいただきております。協賛金は節分祭の諸経費と必要備品の購入に使用させていただいております。本年もご厚志を賜りますよう宜しくお願ひ申し上げます。

初詣は阿蘇神社へ

一年の計は元旦にあり

元日より年頭の各種祈願を受け付けます。ご家族・社員お揃いでご参拝下さい。元日より三日間樽酒を用意します。

初詣・節分など神社へご参拝の方
のためにはイーグル・パチンコ店の車場を借用いたしております。



平成13年の算賀表
年齢は全て数え年

厄入	男女男女	41歳 33歳 42歳 34歳	昭和36年生 昭和44年生 昭和35年生 昭和43年生
厄払	男女男女	34歳	昭和43年生
◎その他	男女とも	22歳、28歳、37歳、49歳、52歳、58歳が	云われます。
厄の年	男女	61歳 70歳 77歳 88歳	昭和16年生 昭和7年生 大正14年生 大正3年生
還古	稀寿寿	3歳 5歳 3歳	平成11年生 平成9年生 平成7年生
	三祝男女	5歳	平成9年生
	七五男女	3歳	平成7年生

平成十二年節分協賛商社御芳名
（順不同・敬称略）

- ・共栄機械工事株九州支店・有溝上建装・西部ガスエネルギー株長崎支店・森住宅・ヤマエ久野株長崎支店・たか動物病院・株唐草・有吉野企画建設・株アサヒ・濱田心緑園・有多良見みづほ清掃社・マエダ住宅株・アート・ミヤハラ・有たらみ印刷・大成商事・松屋眼科医院・株ニチボ一長崎支店・長崎リコー株諫早営業所・森商會・かこい組株・徳永自動車・中村医院・総合アルミ・有丸創建材店・山崎活魚店・株小島工作所・徳永建設株・有鍬塚組・マエダ和光堂・竹迫整形外科・有多良見石碎・有あづま屋・有石橋工業・佐藤貿易・株アール・株吉川金属商事・慈恵病院・有後田塗料商事・株修建設・松尾装業・有北島商事・(有)吉谷工業・長崎アルミサッシ販売株・有サンキヨウ電気・有喜々津青果・有オートショップ泰ク・株森開発・大坪写真館・東京メタリコン株



以上
金庫多良見支店長 島田滋

・長崎リコー株諫早営業所・森商會・かこい組株・徳永自動車・中村医院・総合アルミ・有丸創建材店・山崎活魚店・株小島工作所・徳永建設株・有鍬塚組・マエダ和光堂・竹迫整形外科・有多良見石碎・有あづま屋・有石橋工業・佐藤貿易・株アール・株吉川金属商事・慈恵病院・有後田塗料商事・株修建設・松尾装業・有北島商事・(有)吉谷工業・長崎アルミサッシ販売株・有サンキヨウ電気・有喜々津青果・有オートショップ泰ク・株森開発・大坪写真館・東京メタリコン株

新嘗祭への奉納御礼

（順不同・敬称略）

◇献穀米 長崎県神社庁西彼支部
長崎県神道青年会

◇新米 前田尚武

◇蜜柑 犬塚秀樹

◇キウイフルーツ 犬塚秀樹

◇初穂料 石丸隆男、田中義明

かこい組株 池田忠憲、山田豊明

溝上盛夫、川崎盛一、松本淳

小林哲夫、森 正雄、ことのうみ農協喜々津支所長、草野榮

吉野 徹、富水喜志雄、前山 弘

木下 保、関山一郎、松永 勉

ことのうみ農協青年部長大塚秀樹

◇献酒 親和銀行多良見支店

支店長 松本由昭・たしばな信用

長 山口健二・十八銀行多良見町

新嘗祭は新穀感謝祭とも云われ春の祈年祭、秋の例大祭とともに神社では大切な祭りの一つです。神社では六月の田祈禱祭（田植え終了後の豊作祈願祭）の御礼の祭りとして行われ、五穀を始め生産物の豊穰と諸産業発展の願成就の報賽の祝詞が奏上されました。

平成十二年新嘗祭終了

第9回 新年の運だめし Cross Word Puzzle

一年間の運だめしです。ハガキに①答え、②住所、③氏名、④電話番号を書いてお送り下さい。正解者には阿蘇神社オリジナル記念品を10名(正解者多数の場合は抽選)に贈呈します。締め切りは2月3日午後3時必着(ハガキは持参しても可)。

送り先 〒859-0401 西彼杵郡多良見町化屋名862 阿蘇神社パズル係
(正解者多数の場合、抽選は2月3日節分の第1回豆撒き終了後に行います)

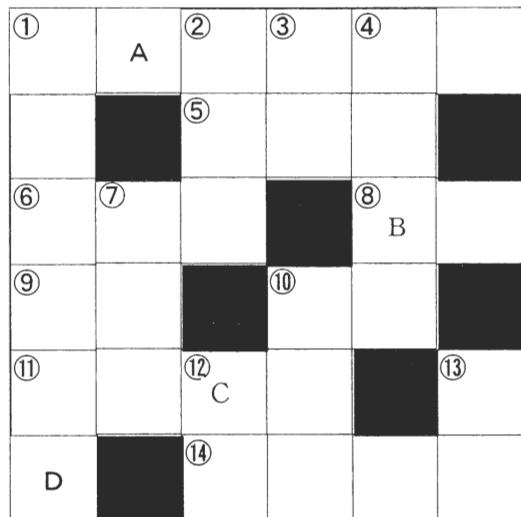
《タテのかぎ》

- ①宝石の一つ。最も堅く、光沢が美しい。
- ②家を建てたり、修理したりする人。
- ③少ない人は七つ、多い人は四十八もある。
- ④敵味方に分かれて戦う。
- ⑤心を強く引きつけられること。生け捕りにした敵のことともいう。
- ⑥苦情、不満を言うこと。
- ⑦つばさ
- ⑧自分の兄弟姉妹の女の子ども

《ヨコのかぎ》

- ①音楽の指揮者。
- ②結婚する相手。
- ③昔火鉢の必需品。やかんなどをのせる。
- ④春の七草の一つ。
- ⑤キュウリ、へちま、すいかなど。
- ⑥家に代々伝えられているしるし。阿蘇神社のは「鍋島日足〇〇」という。
- ⑦古物や中古品。セカンド ハンドの略。
- ⑧慶弔は白と黒を使い分ける。

◎ A~Dの文字を並べかえて下さい。
ヒント: 祝い事には欠かせません。



年末年始の行事予定

十二月三十一日午後四時大祓式

"

午後十一時除夜祭

一月一日 午前一時 歳旦祭

※午前零時より新年祈願祭を斎行します。

家内安全・商売繁昌・厄入厄払・受験合格など隨時受付

一月三日 午前七時 元始祭

二月三日 午後五時 節分祭

引き続き 火焼神事
豆撒行事

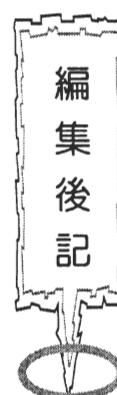
二月十一日 午前九時 紀元祭

※都山流尺八愛好会により尺八の奉納演奏が行われます。

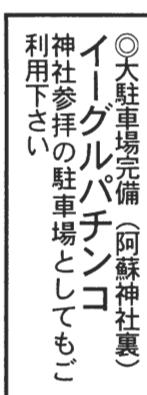
○都山流尺八愛好会により尺八の歌を全員で齊唱します。
○大祓式、紀元祭にはどなたでも参列できます。ご都合の宜しい方は是非ご参列下さい。

○祝祭日には国旗を掲げてお祝いをいたしましょう。

○お正月には新しい御神札をお受けし、ご家庭の守護としてお祀りいたしましょう。
○神様のご加護のもと、幸せな一年をお過ごし下さい。



監 同 同 同 同 同	總 副 宮 總 代 會長 同	謹 賀 新 年
事	代 長	
関 前 森 永 富 木 中 森 高 上 大		
山 山 門 永 下 尾 松 原 島		
一 憲 信 喜 志 勝 繁 幸 国 大		
郎 弘 藏 雄 保 之 由 男 雄 明		



二十一世紀のスタートです▼昨年は二十世紀を締めくくるに相応しい年でした▼しかし政財界は相変わらずで、良識という言葉は今では死語になった感がします▼今年は已年財を招くというその靈力で、不景気な世を平らげていただきたいものです。

